

## 令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

### 1 施設概要

#### (1) 基本的事項

施設名	尼崎市立あこや学園	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市三反田町1-1-1	竣工	S38.5(築満60年)
設置目的			
市内に居住する1歳6ヶ月以上から就学前までの発達に遅れがある児童が通園し療育指導を行うため、児童福祉法第43条に規定する福祉型児童発達支援センターとして設置。			
主な事業内容	市内に居住する1歳6ヶ月以上から就学前までの発達に遅れがある児童に保育、発達検査、言語指導、給食・栄養相談等を行う。		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

#### (2) 施設の政策的特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者による主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

#### 3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）										
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）										
利用者の増										
実施結果 市内の児童発達支援センター等と入園児に関して、本人の障害特性に応じた適切な受入先を協議し、定員50人に対し、46人の受入を行った。受入率も92%と目標をおおむね達成できている。（指標②）										

#### （参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性	指標①：支援への満足度（単位：%）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	-	-	-	-	-	-	94%	100%			
	達成度	-	-	-	-	-	-	94%	100%			
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○			
有効性	指標②：施設利用率（単位：%）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	98%	98%	98%	100%	100%
	実績	-	-	95%	97%	91%	102%	96%	92%			
	達成度	-	-	-	-	-	-	98%	94%			
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○			

◎目標を大きくこぼった/上限値に近い実績で推移している。○目標（概ね）達成した △目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

#### ①決められた指定管理制度内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）  
通園児が集団生活を通して社会性を伸ばし、自立に必要な生活習慣を体得することを目指す。

効率性	実施結果及び評価									
	保護者アンケートを実施し、その結果から子どもたちの特性を把握・理解し、児童発達支援計画の作成に活かすこと、自立に必要な生活習慣を体得することに向けた療育の質の確保に取り組めていることから、市民サービスは維持できている。									
市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）										

#### ②物事性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

効率性	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）									
	不要な電気の消灯を徹底することで、無駄な支出を減らし、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境配慮につなげていく。									
実施結果及び評価										

効率性	電気代が高騰する中、こまめな消灯の徹底など経費削減の取組がされており、効率性と環境に配慮した施設管理は両立できている。									
	○									
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している										

#### （参考）経費の状況（単位：円）

項目	収入			支出			
	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	153,632,000	153,632,000	0	人件費	120,459,000	127,264,617	-6,805,617
指定管理料	0	350,000	350,000	事業費	7,399,000	10,052,219	-2,653,219
				事務費・維持管理経費	19,793,000	20,999,150	-1,206,150
				その他	5,981,000	7,981,000	-2,000,000
収入計	153,632,000	153,982,000	350,000	支出計	153,632,000	166,296,986	-12,664,986

### 2 指定期間全体を通じての目標・実績

#### (1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	一人ひとりの特性や発達段階に応じ、個別支援計画に沿って学園と家庭が連携し、他の保育園との交流も積極的に行なうなど、きめ細かい療育等相談を通して、心身ともに健康で豊かな感性を持った子どもの育ちの支援に取り組んでおり、今後も積極的で効果的な運営が期待できるため。
指定管理者自身が設定した目標	子どもたちがきめ細かい療育を通じ、心身ともに健康で豊かな感性を持って成長し、それぞの地域において健康で生き生きとした生活が送れるよう、地域に対し開かれた児童発達支援センターを目指す。

#### (2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	通園児が集団生活を通して社会性を伸ばし、自立に必要な生活習慣を体得することができる。
目標	あこや学園の利用率(%)
指定期間	R4 R5 R6 R7 R8
目標値	98.00 98.00 98.00 100.00 100.00
実績値	96.00 92.00

#### 法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っていているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力團排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

#### 施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
<b>危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

#### 履行状況－提案時及び年度当初の計画等とのおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
関係性の構築	

#### 適宜、報告・連絡を取り合い、密に連携することで関係強化を図った。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	適宜、連絡を取り合い、必要に応じて協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制の検討を行うことで、事業継続とサービス水準を維持することができた。
指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	体制を維持し、定期的な職員研修、OJTを行なうことで支援の質の向上に努めた。また、行事等も概ね新型コロナウイルス感染症流行前の状況に戻し、子どもの経験の保証と保護者支援の充実に努めた。今後、変化する社会情勢に応じて支援のあり方を検討していくとともに、支援の必要性の高い児童の通所施設として、引き続き職員の支援力向上、確保、定着への取り組みが必要であると考えている。また、児童発達支援センターとしての今後のあり方や職員の配置基準を市とともに見直し、事業運営について協議、共通理解を図りながら、たしかの園とともに尼崎市の児童発達支援センターとしての中核機能を担っていただきたい。

#### 市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

年度目標をおおむね達成することができた。また、指定管理者業務の遂行にあたり指定管理者と密に連絡を取ることができた。また、保護者アンケートの結果から浮かび上がってきたハード面での問題や課題、要望等を市と指定管理者とで十分に協議し、より良い運営体制と業務実施を目指していただきたい。今後も協力的な関係性を築き、サービスの向上を図っていただきたい。	
双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	

利用率に関する目標はおおむね達成することができた。今後は、人員の確保や施設ハード面の課題への対応などについて、市と指定管理者で協議・共通理解を図りながら、より良い事業運営を目指していく。	
双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	

## 令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

### 1 施設概要

#### (1) 基本的事項

施設名	尼崎市立たじかの園	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市三反田町1-1-1	竣工	S60.6(築満38年)
設置目的	市内に居住する1歳から就学前までの肢体不自由児に対して、療育サービスを提供するため、児童福祉法第43条に規定する医療型児童発達支援センターとして設置。		
主な事業内容	市内に居住する1歳から就学前までの肢体不自由児に対して、保護者との通園事業等を実施することによる療育サービスを提供する。		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

#### (2) 施設の政策的特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

#### 3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）																																																													
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																													
利用率の増加																																																													
実施結果																																																													
目標達成に向け、利用者に情報が届くよう園を取り組みを関係機関に周知し、利用率の向上を目指したが、結果として目標値を大きく下回り、目標未達となった。（指標②）																																																													
（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況																																																													
有効性	指標①：（例）支援への満足度（単位：%）																																																												
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																	
	目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%																																																	
	実績	-	-	-	-	-	-	92%	75%																																																				
	達成度	-	-	-	-	-	-	92%	75%																																																				
	評価	-	-	-	-	-	-	○	△																																																				
効率性	指標②：施設利用率（単位：%）																																																												
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																	
	目標	-	-	-	-	-	-	70%	72%	72%	74%	74%																																																	
	実績	-	-	67%	70%	66%	63%	41%	48%																																																				
	達成度	-	-	-	-	-	-	-	59%	67%																																																			
	評価	-	-	-	-	-	-	-	△	△																																																			
◎目標を大きく下回った/上限値に近い実績で推移している。○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）																																																													
①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか																																																													
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																													
通園児が集団生活を通して社会性を伸ばし、自立に必要な生活習慣を体得することを目指す。																																																													
実施結果及び評価																																																													
保護者アンケートを実施し、その結果から子どもたちの特性を把握・理解し、児童発達支援計画の作成に活かすことで、自立に必要な生活習慣を体得することに向けた療育の質の確保に取り組めていることから、市民サービスは維持できている。																																																													
市民サービスが、◎大幅に向上了した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）																																																													
②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか																																																													
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）																																																													
不要な電気の消灯を徹底することで、無駄な支出を減らし、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境配慮につなげていく。																																																													
実施結果及び評価																																																													
電気代が高騰する中、こまめな消灯の徹底など経費削減の取り組みがされており、効率性と環境に配慮した施設管理は両立できている。																																																													
◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している																																																													
（参考）経費の状況（単位：円）																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>収入</th> <th>支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>項目</td> <td>予算額</td> <td>決算額</td> <td>差引</td> <td>項目</td> <td>予算額</td> <td>決算額</td> <td>差引</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>160,464,000</td> <td>160,460,205</td> <td>-3,795</td> <td>人件費</td> <td>138,040,000</td> <td>144,487,627</td> <td>-6,447,627</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費</td> <td>9,563,000</td> <td>8,641,747</td> <td>921,253</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事務費・維持管理経費</td> <td>6,738,000</td> <td>8,216,366</td> <td>-1,478,366</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>6,123,000</td> <td>7,123,000</td> <td>-1,000,000</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>160,464,000</td> <td>160,460,205</td> <td>-3,795</td> <td>支出計</td> <td>160,464,000</td> <td>168,468,740</td> <td>-8,004,740</td> </tr> </tbody> </table>												収入	支出	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引	指定管理料	160,464,000	160,460,205	-3,795	人件費	138,040,000	144,487,627	-6,447,627					事業費	9,563,000	8,641,747	921,253					事務費・維持管理経費	6,738,000	8,216,366	-1,478,366					その他	6,123,000	7,123,000	-1,000,000	収入計	160,464,000	160,460,205	-3,795	支出計	160,464,000	168,468,740	-8,004,740
収入	支出																																																												
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引																																																						
指定管理料	160,464,000	160,460,205	-3,795	人件費	138,040,000	144,487,627	-6,447,627																																																						
				事業費	9,563,000	8,641,747	921,253																																																						
				事務費・維持管理経費	6,738,000	8,216,366	-1,478,366																																																						
				その他	6,123,000	7,123,000	-1,000,000																																																						
収入計	160,464,000	160,460,205	-3,795	支出計	160,464,000	168,468,740	-8,004,740																																																						

### 2 指定期間全体を通じての目標・実績

#### (1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	就学前の児童の通園事業のみならず、成人に至るまでの障害児(者)の住宅における生活に対して、それぞれのニーズに応じ、ライフステージを通じた一貫性のある支援を提供しており、利用者の福祉の向上に寄与しているため。
指定管理者自身が設定した目標	園での療育イメージ「たじかのつこの大きな木」に沿い、様々な経験ができるよう支援を充実していく。

#### (2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	母子通園を通じて、機能訓練や保育、生活指導等を受け社会生活に適応するため、自立に必要な生活習慣を体得することができる。								
目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>たじかの園の利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定期間</td> <td>R4 R5 R6 R7 R8</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>70.00 72.00 72.00 74.00 74.00</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>41.00 48.00</td> </tr> </tbody> </table>	指標	たじかの園の利用率(%)	指定期間	R4 R5 R6 R7 R8	目標値	70.00 72.00 72.00 74.00 74.00	実績値	41.00 48.00
指標	たじかの園の利用率(%)								
指定期間	R4 R5 R6 R7 R8								
目標値	70.00 72.00 72.00 74.00 74.00								
実績値	41.00 48.00								

### 法令遵守

施設の管理運営	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか
貸与備品等について	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか

### 施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	適正
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

### 履歴状況－提案事項及び年度当初の計画等とのおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
関係性の構築	適宜、報告・連絡を取り合い、密に連携することで関係強化を図った。

### 協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

適宜、連絡を取り合い、必要に応じて協議の場を設け、双方の意見や方向性を共有しながら、経費面を含めた効率的な運営体制の検討を行うことで、事業継続とサービス提供水準を維持することができた。

### 指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

令和5年10月から令和7年3月末まで教育・障害福祉センターの長寿化工事のため、旧北難波保育所に移転中である。以前の事業実施場所と比べて古い建物ということもあり、利用者アンケートなどで建物への要望を一定数受けているため、市と情報共有をしながら今後も対応していく。児童福祉法改正により児童発達支援センターが地域の障害児支援の中核拠点との位置づけとなることから、関係機関等への周知を図り、通園機能だけでなく保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援にも一層力を入れていきたい。また、あこや学園との連携も協議しながら、再移転後に診療所機能の充実ができるよう体制を整え、更に市民貢献していきたい。

市への考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用率に関する年度目標は未達となっており、関係機関への情報の周知を図るなどしたが、利用率向上には大きく寄与しなかった。情報の周知には一定取り組んでいることから、現在の取り組みを継続するとともに、より効果的な方法を指定管理者と協議していきたい。また、令和6年度の児童福祉法の改正により、児童発達支援センターの類型（医療型・福祉型）が一元化され、その機能と役割が明確化されることをふまえ、現状の施設が抱える支援課題等について、市と指定管理者とで共有し、より地域ニーズに即した施設となるよう取り組みを進めていきたい。

### 双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

今年度の取り組みを継続しつつ、園の利用率向上と保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援を含めた指定管理者が積極的に取り組んでいるアウトソース事業を活用するなど、さらなる事業展開について市と指定管理者で協議し、課題解決に取り組んでいく。

また、令和6年度の児童福祉法の改正をふまえ、より地域ニーズに即した施設とするために、指定管理者と適宜協議しながら、たじかの園の体制拡充を進めていく。

## 令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

### 1 施設概要

#### (1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者デイサービスセンター	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市七松町3丁目8番8号	竣工	H14.7(S55.3新築を一部改修・増築、築満42年)
設置目的	在宅の心身障害者に対し、通所の方法により各種のサービスを提供することにより、その自立の促進、生活の改善、身体の機能の維持向上等を図る施設として設置		
主な事業内容	障害者総合支援法に基づく生活介護事業と室内温水プール事業		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 H31.4.1 至 R6.3.31

#### (2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

#### 3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）											
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
常時介護が必要な方にも通所による各種サービスの提供を継続することにより、その生活の維持向上等を図る。											
実施結果											
利用者のほとんどが障害区分5、6の常時介護の必要な重度障害のある方で、そのような方にも安定して各種サービスを提供することができた。（指標①②）											
（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況											
指標①：重度障害者の利用率（単位：%）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	95%	95%			
実績	-	-	-	-	-	96%	97%	96%			
達成度	-	-	-	-	-	-	102%	101%			
評価	-	-	-	-	-	-	◎	◎			
指標②：平均障害区分※3月（年度最終月実績）における障害区分の平均											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	5.70	5.70			
実績	-	-	-	5.83	5.80	5.77	5.80	5.75			
達成度	-	-	-	-	-	-	102%	101%			
評価	-	-	-	-	-	-	◎	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している。○目標を（横ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

#### ①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者から要望を反映させる取組を行なう。

#### 実施結果及び評価

毎年、利用者アンケートを実施している。生活介護事業では、利用者や家族の意見を基に個別支援計画を作成し、サービス提供を行なっている。

市民サービスが、◎大幅に向上了、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

#### ②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。

#### 実施結果及び評価

こまめな消灯の徹底や新電力の導入など経費削減、温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行なった。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

#### （参考）経費の状況（単位：円）

収入			支出		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
指定管理料	81,145,000	81,145,000	0 人件費	62,892,000	64,295,817 -1,403,817
			事業費	2,651,000	2,511,165 139,835
			事務費・維持管理経費	12,443,000	15,791,155 -3,348,155
			その他	3,159,000	4,159,000 -1,000,000
収入計	81,145,000	81,145,000	0 支出計	81,145,000	86,757,137 -5,612,137

### 2 指定期間全体を通じての目標・実績

#### (1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	利用者の障害状況等に応じた各種サービスを安定かつ充実して実施できること。
指定管理者自身が設定した目標	常時介護が必要な重度障害者にも通所による各種サービスの提供を継続することにより、その生活の維持向上等を図る。

#### (2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	常時介護が必要な方にも通所で各種のサービスを提供することにより、その生活の維持向上等を図る。
目標	平均障害区分※3月（年度最終月実績）における障害区分の平均
目標期間	R1 R2 R3 R4 R5
目標値	- - - 5.70 5.70
実績値	5.83 5.80 5.77 5.80 5.75
達成状況の評価	目標を上回り、重度障害者にサービスを提供できている。

### 法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

### 施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
<b>危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか</b>	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

### 履行状況－提案時及び年度当初の計画等とのおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
協議事項があれば、所管課が施設を訪問する等、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。	

### 協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

施設の設備や備品が老朽化する中、不備があるものについては随時報告を受け、修繕について随時協議を行つており、予算措置の必要があるものは速やかに所管課で予算措置を行うことで施設の安定的な運営が維持できている。令和5年度は経年劣化により不具合が生じている調理室の冷凍冷蔵庫の入れ替えを実施した。

### 指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

医療的ケアの必要な利用者を含めて障害支援区分5・6の重度障害者23人（利用者全体の96%）に対して安定的に生活介護サービスを提供した。温水プール事業も、市内の身体障害者を中心に身体機能の維持・リハビリを兼ねて提供した。また、あまよう特別支援学校の卒業生（強度行動障害者）を利用者として受け入れ、各種学校等からの受け入れ依頼に対応する専門職人材養成を目的とした看護実習生についても受け入れを行なった。引き続き同様の事業を継続し、更なる医療的ケアが必要な利用者への対応のため市と協議していかたい。

### 市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

利用者のほとんどが、障害支援区分5・6の重度障害者であり、そのような方にも安定して障害サービスを提供した。今後も医療的ケアの必要な利用者を含めて、重度障害者へのサービス提供の担い手としての運営を求めていく。

### 双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

医療的ケアの必要な利用者への対応の拡充という今後の展望は、市・指定管理者共に一致している。そのための特殊浴槽の入替等での効率化による配置改善を協議していくほか、送迎車など経年劣化がある備品が多く、今後、入れ替えが必要なものが多いため、その対応・運用方法についても協議を進めしていく。

## 令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

### 1 施設概要

#### (1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者福祉センター	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市三反田町1丁目1番1号	竣工	S60.3(築満37年)
設置目的	市内に居住する心身障害者の増進及びその社会活動の促進を図るために中核的施設として設置		
主な事業内容	機能訓練に関する事業と教養の向上に関する事業		
指定管理者名	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

#### (2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に貢献する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

### 3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

#### 施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

身体障害者福祉センター利用者数の増加

#### 実施結果

コロナ禍の影響により令和元年度から利用者数は減少傾向にあったが、令和4年度から増加傾向に変わり、令和5年度は利用者数15,065人と目標値の143%と目標を達成している。（指標②）

#### （参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性	指標①：接遇面の利用者満足度（単位：%）	指標②：利用者数（単位：人）										
		年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	-	-	-	-	-	-	80%	85%	90%	90%	90%
	実績	-	-	-	-	-	81%	83%	79%			
	達成度	-	-	-	-	-	-	101%	93%			
	評価	-	-	-	-	-	-	(○)	×			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している。○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

#### ①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者からの要望を反映させる講座その他取組を行う。

#### 実施結果及び評価

毎年、利用者アンケートを実施している。自立訓練では利用者の意見を基に個別支援計画を作成し、サービス提供を行っている。令和元年度から意見交換会などの場を設け、事業改善に取り組んでおり、スポーツ教室ではボッチャ、モルックなど近年需要が高まるスポーツを取り入れている。

○

市民サービスが、○大幅に向上了した、△維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

#### ②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。

#### 実施結果及び評価

こまめな消灯の徹底など温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

#### （参考）経費の状況（単位：円）

収入			支出				
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	71,385,000	71,385,000	0	人件費	53,230,000	53,750,734	-520,734
				事業費	5,848,000	2,552,048	3,295,952
				事務費・維持管理経費	9,528,000	9,318,435	209,565
				その他	2,779,000	5,779,000	-3,000,000
収入計	71,385,000	71,385,000	0	支出計	71,385,000	71,400,217	-15,217

### 2 指定期間全体を通じての目標・実績

#### (1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	各種講座や自立訓練を実施する等、市が推進する障害者施設に応じた取組を行ってきており、より国等の制度が複雑多様化する状況においても積極的かつ安定的に事業を展開できること。
指定管理者自身が設定した目標	地域の関係機関や障害者団体、障害福祉サービス事業所などと連携し、地域で生活する障害者を支援するとともに、地域や市民に親しまれ、愛される施設として、障害者と地域をつなぐ役割を果たしていく。

#### (2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	障害のある方と地域をつなぐ役割の施設として多くの障害のある方に利用してもらう。
目標	利用者数(単位:人)
目標期間	R4 R5 R6 R7 R8
目標値	10,000 10,500 11,000 11,500 12,000
実績値	13,063 15,065
達成状況の評価	令和5年度の目標を達成しており、達成状況は良好である。

### 法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

### 施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

### 履行状況・提案事項及び年度当初の計画等とのおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

### 関係性の構築

協議事項があれば、所管課が施設を訪問する等、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
コロナ禍において感染対策として設けた利用制限を徐々に緩和していくが、令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、所管課と指定管理者で対応を協議し、速やかに利用者に周知した。特に要望の多かった食事を伴う利用については教育・障害福祉センター2階に併設する身体障害者福祉会館と所管課主体で調整を行い、利用方法を整備し、周知した。これにより、利用者の要望も踏まえ時流に合った施設運営を行うことができた。	

### 指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

令和5年10月から開始されている教育・障害福祉センター及び立花体育馆大規模改修工事の情報提供や細やかに実施され、利用者へ負担がかかるないように対応てきた。令和6年度は当施設の対象となる工事がさらに本格化し、空調の効かない期間や、事業の中止を余儀なくされる時期もあるが利用促進を図っていただきたい。すみやかな情報伝達と、細やかな調整をお願いしたい。

### 市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

教育・障害福祉センター2階へ移転してきた身体障害者福祉会館との関係を深め、相乗効果となるように指定管理者、所管課、身体障害者福祉会館で連携していくことを求める。

### 双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設利用上のきまりなど、教育・障害福祉センター2階の身体障害者福祉会館等の他施設と足並みをそろえるべき事項については所管課主体で調整を行い、身体障害者福祉会館を利用した事業を実施するなど、より多くの障害者に利用してもらえる施設を目指していく。

## 令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

### 1 施設概要

#### (1) 基本的事項

施設名	尼崎市立身体障害者福祉社会館	施設所管課	福祉局 障害福祉政策担当
施設住所	尼崎市三反田町1丁目1番1号	竣工	R4.8 (S60.3新築を一部改修し移転、築31年)
設置目的	市内に居住している身体障害者の交歓及び厚生福利の増進並びに社会福祉活動の進展を図る施設として設置		
主な事業内容	尼崎市立身体障害者福祉社会館の維持管理及び貸館業務		
指定管理者名	特定非営利活動法人 尼崎市身体障害者連盟福祉協会	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

#### (2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に貢献する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の扱い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他( )

### 3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

#### 施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

身体障害者福祉社会館の利用者数の増加

#### 実施結果

貸室利用率は貸室の予約方法や利用方法を見直したため令和4年度に比べ令和5年度は減少しているが、貸室利用者数は、目標値の169%と目標を大きく超えて達成している。（指標①②）

#### （参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

#### 有効性

指標①：貸室利用率（単位：%）	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	27%	28%	29%	30%	31%	
実績	-	-	-	-	-	-	26%	23%				
達成度	-	-	-	-	-	-	96%	79%				
評価	-	-	-	-	-	-	○	△				

  

指標②：貸室利用者数（単位：人）	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800	
実績	11,286	11,413	11,184	9,936	2,451	2,896	5,344	7,101				
達成度	-	-	-	-	-	-	13%	169%				
評価	-	-	-	-	-	-	○	○				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している。○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

#### ①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者の満足が得られる貸館業務及び施設管理運営を行う。

#### 実施結果及び評価

すでに予約が入っている貸室の問い合わせがあった時などは、利用人数や利用目的にあつた部屋に移動を提案するなどして、なるべく多くの利用者に満足してもらえるように配慮して運営ができている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

#### ②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな消灯など経費の低減、環境マネジメントシステムでの各チェックシートを活用するなど環境に配慮した取組を行う。

#### 実施結果及び評価

こまめな消灯の徹底など温室効果ガス排出量削減を意識した取組を行った。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

#### （参考）経費の状況（単位：円）

収入			支出				
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	4,701,000	4,701,015	15	人件費	3,939,000	3,903,314	35,686
				事業費	0	0	0
				施設維持管理運営費	56,000	5,560	50,440
				事務費	706,000	647,238	58,762
収入計	4,701,000	4,701,015	15	支出計	4,701,000	4,556,112	144,888

### 2 指定期間全体を通じての目標・実績

#### (1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	障害者団体である指定管理者の視点や施設利用者の立場も踏まえた自主的な管理が市民サービスの向上、管理経費の縮減等につながること。
指定管理者自身が設定した目標	指定管理者である身体障害者連盟協会をはじめとする障害者団体が利用しやすいように維持管理に努める。

#### (2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	利用しやすい施設としてより多くの障害者に利用してもらう。
目標	貸室利用者数(単位:人)※中間評価は11月末時点
目標期間	R4 R5 R6 R7 R8
目標値	4,000 4,200 4,400 4,600 4,800
実績値	5,344 7,101

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか
貸与備品等について	台帳を整備し、適切に管理しているか
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか	協議録等、必要な文書を作成しているか
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか

施設の経営状況	施設の経営状況
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理・事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	適正
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況・提案時及び年度当初の計画等とのおりに業務を行ったか	履行状況・提案時及び年度当初の計画等とのおりに業務を行ったか
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

#### 関係性の構築

協議事項があれば、所管課が施設を訪問する等、指定管理者と密に連絡を取り合いながら協議してきた。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）
令和4年8月1日の教育・障害福祉センター移転後に一般利用者を含め、移転前にはなかった利用が増えている。利用の許可等に疑義がある場合は所管課と指定管理者で協議を行い、所管課で利用許可のフローチャートの整備等を行ってきた。これにより、通常は管理人1人での業務となるが、スムーズに館運営が行われている。	令和4年8月1日の教育・障害福祉センター移転後に一般利用者を含め、移転前にはなかった利用が増えている。利用の許可等に疑義がある場合は所管課と指定管理者で協議を行い、所管課で利用許可のフローチャートの整備等を行ってきた。これにより、通常は管理人1人での業務となるが、スムーズに館運営が行われている。

#### 指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

教育・障害福祉センターへの移転後、コロナ禍もあり施設の利用方法を見直していくことで利用者に戸惑いや苦情がみられたが、所管課や利用団体とも協議しながらより良い施設運営ができるよう努め、少しづつ理解が得られるようになってきた。障害者への情報支援機器の利用も徐々に増えている。今後も利用者の障害特性に配慮し、実態に則した運営ができるよう、所管課と運営方法について協議を行っていただきたい。

#### 市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

一般利用も含め利用者が増加しているものの大きな問題なく館運営が継続できている。障害者への情報支援機器等を活用した館運営を所管課と指定管理者で協議して考えていただきたい。

#### 双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設利用上のきまりなど、教育・障害福祉センター内の身体障害者福祉センター等の他施設と足並みをそろえるべき事項については所管課主体で調整を行い、情報支援機器の活用等の具体的な館運営については障害者団体である指定管理者と所管課で協議を行っていくことで、より多くの障害者に利用してもらえる施設を目指していく。